



市市川のため、地元のために働いています！

議会議員

# 稲葉健二の 一言メッセージ

稲葉健二 後援△  
市川市八幡2-2-10  
TEL 333-1783  
FAX 334-1990

内部討議資料

皆様のご声援、ご尽力によって、新入生議員になって1年。私なりに必死で突っ走ってきました。でも、市川のため、地元のためにまだまだやらなくちゃならないことがいっぱいです。昨年の今頃の気持ちに戻って、初心を忘れずに、これからも頑張ります！

さて、2月に開会されました「2月定例会」、稲葉健二は大きく分けて、「本八幡地区市街地再開発について」、「子どもの居場所づくりについて」、「ボランティア・NPO活動推進について」、「映像文化センターについて」の4点の質問をさせていただきました。いずれの質問にも、関係者の方から丁寧なご答弁をいただきました。これからも行政と一体となり、皆様が住みやすい街になるよう努力してまいります。

### 本八幡地区市街地再開発について

本八幡北口地区は、京成八幡駅、都営新宿線本八幡駅、JR 本八幡駅、国道14号線、バス路線の起点など、交通結節点としても重要な地区です。

この地区の再開発事業の中で、C-1、D-1、D-2地区の再開発の工事が完了、組合も解散、または解散を予定しております。（上記3地区は、具体的にアクス本八幡、キャピタルタワー、プリームスクエアのことです。）

今回質問させていただいたのは、A地区です。A地区は京成八幡駅と都営新宿線本八幡駅、国道14号線に隣接した、「八幡横丁商店街」のある地区です。

地権者の方々からは、商店街の活性化、防災機能の向上、交通安全の確保などの観点から、早急な再開発の事業化が望まれています。

「再開発促進地区」及び「市川市中心市街地活性化基本計画」に定められた地区に位置しているこのA地区は、「本八幡北口地区の顔（中心）として魅力あふれる街の実現」をコンセプトに、商業業務機能の集積と都市型住宅の整備を図り、広域拠点としての発展を目指して事業が推進されています。

私、稲葉健二も地元の人間として、地権者の方、近隣の方たちと協力し、一時も早いこの再開発の事業化を推進していく所存でございます。

映像文化センターについて  
メディアパーク内にある映像文化センターのグリーンスタジオ、市民の皆様がもっと利用しやすいように、施設の改善、利用時間・申込方法・利用方法の見直しを推進していきます。また、ハイビジョン上映目的のベルホール、このホールも使用件数が非常に少ないのが実態です。立地条件もよいこれらの施設、市民の皆様に使ってもらえる施設になることが、市民ニーズに答えることになると考えていますので、ぜひ改善、見直しをしたいと思います。

私、稲葉健二は、次代を担う子どもたちのために、また、ボランティアの方たちが活動しやすいように、市が行っている数々の子育て支援事業に積極的に参加し、推進していきます！

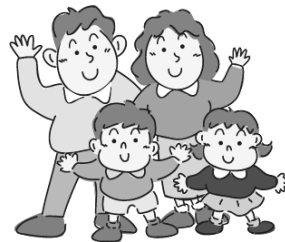
### ピーイング（子どもの居場所づくり事業）

学校施設を活用し、放課後の子どもたちの居場所をつくり、地域の人々とふれあい、異年齢間の交流による豊かな遊びをとおして、子どもたちの想像豊かな心、共感する心を養い、子どもたちの健全育成を図ることを目的に、市立小学校内に順次設置をはじめている事業です。

現在市内5校に設置されており、今年度は八幡小に設置される予定です。

### コミュニティクラブ（ナーチャリングコミュニティ）

市内を中学校の学区を基に、16のブロックに分け、ボランティアの方々が、各ブロックごとに実行委員会を組織し、地域の子どものために様々な活動を展開していく。地域の特性を生かして独創的な活動内容を考え、子ども達に豊かな社会体験・生活体験・自然体験の場を設けていく。そういった事業を行っています。



### ボランティア・NPO活動推進について

市川市には、ボランティア・NPO活動などの市民活動に積極的に側面支援を行えるよう、ボランティア・NPO活動推進課があります。ところが、それらの市民活動の運営に対して、支援方法や設備・備品などの改善への希望の声も少なくありません。市民の皆様を使い勝手を考えた設備、ボランティア活動で使う機材の貸し出しなども考えて行く必要があります。

また、「市民活動支援補助金制度」ですが、いろいろな活動に前向きに取り組むために大変有難いことだと思います。ただ、補助金を出すための審査、その審査会の審査結果の公表も必要ですし、補助金の額についても検討する余地があります。

ボランティア活動応援団、稲葉健二、頑張ります。